

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 まこと

- 法人本部
- 特別養護老人ホーム しあわせの家
- ショートステイ しあわせの家
- デイサービスセンター しあわせの家
- 居宅介護支援事業所 しあわせの家
- 地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川
- ショートステイ しあわせの家寒川

社会福祉法人まこと 法人本部 事業報告書

1. 令和3年度の重点取組結果

(1) 安定した経営の維持

各事業所の稼働率向上については、事業場で明暗を分ける結果となりました。詳細については、各事業所の事業報告書をご参照下さい。

無駄の排除については法人の共通認識として取り組んでまいりました。コロナウイルス対策としての経費増加がありました。紙の使用枚数の削減、エレベーターの職員利用削減等に取り組み、印刷機の使用枚数については、以前は回覧していた書類をデータ化することで削減し経費削減ができたと評価しています。しかし、安定した経営の維持に必要な人材確保が難しい現状においては、こうした目に見えるコストだけではなく、業務においても無駄を排除してマンパワーを効果的に活用する施策が必要だと考えています。

今後も安定した経営の維持に向けて様々な施策に取り組む必要があると考えます。

(2) 人材育成の推進と人材確保

現リーダーの成長及び次世代リーダーの育成に関しては、コロナ禍で多くの研修が中止となるなど、十分な取り組みが出来ませんでした。そのような中で、役職者を対象としたリーダー研修を実施しましたが、開催頻度も少なく法人全体を通してみると十分な成果を上げることができなかつたと評価しています。現リーダーの成長及び次世代リーダーの育成は一朝一夕にできるものではありませんが、実現可能な具体的な施策を立てて育成教育を実践していく必要があると考えています。

人材確保のための施策として派遣会社の活用、ハローワークでのミニ面接会の開催、シルバー人材の活用、介護技能実習生の受け入れ調整、高等学校訪問を行いました。介護技能実習生についてはコロナ禍であることから令和3年4月の予定が1年遅れ、令和4年4月18日となりました。将来的な雇用減少に備え特定技能実習生として3名の追加採用を決定する等の結果を出すことができました。また、本年度は21名(豊岡事業所15名、寒川事業所6名)の直接雇用を開始し、派遣業者より延べ5名を短期で受け入れ、来年度は4月に中途採用1名、インドネシアの実習生については入国日が不透明の者を含めると6名の受入が決まっていることから徐々に成果が出ていると分析しています。とはいえ、介護業界における人材不足は深刻な状況ですので、今後も介護サービスを安定的に提供できるような人材確保に向けて労働者からも選ばれる法人になれるよう努力することが必要であると考えます。

(3) 顧客意識(接遇)の向上

顧客満足度調査においては、接遇マナーにおいても比較的高い評価をいただいておりますが、接遇面の改善についてご利用者・ご家族様からご指摘をいただくことがあったことから十分な成果をあげることに至っていないと評価しています。顧客意識の向上のために立ち上げた接遇向上委員会も十分な活動ができなかったことに加えて、施設内研修も開催がままならなかったことが要因であると分析しています。選ばれる事業所になるためには、高齢者の尊厳を守ることを念頭に顧客意識を向上させることが必要不可欠であると考えていますので、今後も採用時研修、委員会活動、研修会を通じて、継続的に取り組みたいと考えています。

(4) 労働環境の整備

ノーリフトケアの導入による労働環境改善・職員の負担軽減においては、導入プロセスに必要と考えていた中心となる人材への研修等がコロナ禍によって実施することができなかったことにより取り組むことができませんでした。設備面の整備においては、豊岡事業場では、デイサービスの空調設備（脱衣所の入れ替え及び共用トイレへの追加設置）を整備して職場環境を改善しました。特養ではナースコール設備を更新し新機種を導入する予定でしたが、コロナ禍における半導体不足により納入の目途がたたず、今年度の更新は見送らざるを得ない状況となりました。寒川事業場では、新しい設備の導入等はありませんでした。

その他、有給休暇の取得や時間外勤務の適切な取り扱い等、法令を遵守した労働環境づくりに取り組むことができました。総合的には、労働環境改善・職員の負担軽減施策であるノーリフトケアへの取組ができなかったことから不十分であったと評価し、継続した取組が必要であると考えます。

(5) 新規事業開設に向けての調整と推進

新規事業開設に向けて準備をしましたが、四国中央市からの許可を得ることができず、本年度内の具体的な推進には至りませんでした。四国中央市としては、現在の寒川の事業（特養・ショート）が公募事業であったことから、その公募において予定されていない通所事業を開設するには、時期尚早であるとの見解でしたので、結果についてはやむを得ないと評価していますが、今後も引き続き行政との調整に努めたいと考えています。

2. 実施事業結果

各事業の事業報告書参照

3. 職員配置結果

概ね事業計画の通り配置することができました。

4. 年間行事・各種会議結果

6月の家族の集い及び8月の花火大会等多人数の集まる行事をコロナ感染拡大防止のため中止しました。又、12月の育豊祭は同理由にて開催されませんでした。それ以外については、概ね計画の通りに実施することができました。

5. その他、運営結果

- * 4月～6月 四国中央市より指示を受け、産業医であるみよし循環器クリニックの三好広典医師のご協力を得て、新型コロナワクチンの1回目及び2回目の接種を豊岡及び寒川の各事業場で実施しました。
- * 11月 8日 南海トラフ地震等に対応するため、福祉避難所を充実させたい四国中央市の意を受け、福祉避難所の指定を受けるべく準備を開始しました。現在、四国中央市の推奨する研修へ参加し、マニュアルの作成等の準備を行なっています。
- * 12月 3日 障害者職業生活相談員資格取得研修を受講し、5人以上の障害のある労働者を雇用する事業所では、選任する必要がある「障害者職業生活相談員」を選任し、ハローワークへ申請しました。

- * 12月27日 豊岡事業所の正面玄関に監視カメラを設置しました。(不審者侵入時の早期発見のため四国中央警察より設置要望あり。)
- * 1月11日 四国中央市と「災害時における福祉避難所の設置運営等に関する協定」を締結しました。
- * 1月14日 10月から12月末までの間に衛生用品等の購入に要した費用を補助する感染防止対策支援事業について申請しました。
- * 1月～2月 四国中央市より指示を受け、産業医であるみよし循環器クリニックの三好広典医師のご協力を得て、新型コロナワクチンの3回目の接種を豊岡及び寒川の各事業場で実施しました。
- * 1月27日 郵便局口座の保有者からの利用料引落を開始しました。
- * 3月23日 四国中央公共職業安定所が主催する令和5年3月新規高等学校卒業予定者を対象とした企業説明会に参加しました。

特別養護老人ホーム しあわせの家 事業報告書

1. 令和3年度の重点取組結果

(1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

接遇向上委員会を開催し、施設全体で共通認識のもと、接遇向上に取り組むこととしていました。しかし、利用者・ご家族から「苦情」という形で、接遇マナー、言葉遣いについての指摘があり、反省すべき事案もあり、不十分であると考えます。令和3年6月には、介護長を講師として、全職員を対象とした「接遇」に対する研修を実施しました。まことのしあわせを求めているご利用者・ご家族様に、誠心誠意の対応で信頼を失わないよう、職員一人一人再認識するべく、接遇向上委員会を有効に活用していきたいと考えます。

(2) 他職種連携（法人内）の充実

施設内カンファレンスに看護師や生活相談員が参加し、ご利用者の状態やご家族の状況など、様々な情報をより一層把握する事ができるようになり、充実したカンファレンスを開催する事ができていると考えます。また、今年度からパソコン上の共有ファイルに申し送りを入力するようにした結果、全ての職員に情報が行き届くようになり、情報共有がより効果的になったと考えます。

(3) 人材育成の推進

今年度も、新型コロナウイルス感染症に伴い、多くの外部研修が中止となりました。施設内研修については文書開催を継続して実施しておりますが、研修での人材育成を行うにあたって十分な成果は得られなかったと考えます。また、人事考課制度について、各部署考課者を招集し、再認識の為の研修を実施しました。更なるモチベーション向上に繋げていきたいと考えます。

(4) 法令遵守

令和3年度の法改正に対しては、法令解釈に疑義が生じた場合には、都度行政機関などに確認する等を行い、適切に対応する事ができたと考えます。また、年2回指導監査調書を使用しての自己点検も継続して行う事でコンプライアンスを徹底できたと考えます。

(5) 労働環境の整備

ノーリフトケアに向け、人材育成に関する施設内研修会の開催並びに外部研修への派遣を行う予定でしたが、コロナ感染対策等の理由により実施できませんでした。但し、福祉機器(フレックスポート)を追加購入し、有効的に活用できていると評価しています。本来であれば研修等を実施し、意識統一したうえでケアしていくべきではあります。コロナ禍や人員不足もあり、集合研修は実施できませんでした。介護従事者の腰痛予防・腰痛改善に今後も積極的に取り組んでいきたいと考えます。

(6) 感染症対策

新型コロナウイルス感染状況により、その都度、職員の行動制限や面会制限等、迅速に対応する事によって、現時点では施設内での感染発症者を防ぐ事ができています。今後も継続して、職員一人一人が常に危機意識を持って感染対策に努めていきたいと考えます。

2. 目標稼働率結果

① 96%

$(100\text{床} \times 365\text{日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入所間の空床日数}) \div 100 \times 365$

② 年間入院日数 1,000 日以内

上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りです。

① 94.4% ※前年度 95.2%

② 1,655日 ※前年度 1,235日

目標達成に至りませんでした。要因としては年間を通して入院された利用者が、入院期間の長期化により、施設退所となるケースが多くみられました。入院期間については身体状況によって変動があり、やむを得ないと考えます。退院許可が下りれば、速やかに退院のお迎えに行くように調整しました。また、退所後、新規入所までの平均期間については、昨年度が約17日に対して、本年度は約12日と改善が見られています。昨年度31名の退所者が本年度は32名、入院日数については昨年より420日増加しており、稼働率を引き下げる要因になったと考えます。

3. 施設行事実施結果

* 新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部との接触が3密となる行事については自粛しました。館内のみで行う行事については、周囲の感染状況や行政の指示に従い規模を縮小して行いました。

4. 職員配置結果

* 概ね事業計画の通り配置することができました。

5. 各種委員会・職員会議結果

* 新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止や文書開催へ変更となる事がありました。概ね事業計画の通り実施できました。

6. 各種研修会結果

- *新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部講師を招いての研修は中止しました。又、多くの研修が中止となりましたが、開催が義務付けられている必須研修については文書による開催へ変更し実施する事ができました。

7. その他、運営結果

- 4月 *入職式開催
 - *新型コロナワクチン1回目接種実施
- 5月 *物故者供養祭開催
 - *避難訓練実施
 - *新型コロナワクチン2回目接種実施
- 6月 *顧客満足度調査（上半期）実施
 - *寝具交換実施
- 7月 *入所者健康診断を計画的に実施
- 8月 *花火大会（規模を縮小して開催）
- 9月 *敬老会（規模を縮小して開催）
- 10月 *職員満足度調査実施
 - *ストレスチェック実施
 - *寝具交換実施
 - *職場環境改善アンケート実施
 - *インフルエンザ予防接種実施（10月～12月）
- 12月 *顧客満足度調査（下半期）実施
- 1月 *新型コロナワクチン3回目接種実施
 - *人事考課実施
 - *抗原検査実施

ショートステイ しあわせの家 事業報告書

※「ショートステイしあわせの家」は、特別養護老人ホームしあわせの家の併設事業となる為、重複する部分については特別養護老人ホームしあわせの家事業報告書をご参照お願い致します。

1. 令和3年度の重点取組結果

- (1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上
- (2) 多職種連携(法人内)の充実
- (3) 人材育成の推進
- (4) 法令遵守
- (5) 労働環境の整備
- (6) 感染症対策

※上記(1)～(6)については、『特別養護老人ホームしあわせの家事業報告書』参照

(7) 安定した経営の維持

- * 居宅介護支援事業所の介護支援専門員との情報交換
- * 地域ニーズアセスメント
- * 入所申請者の在宅生活状況の確認とニーズ把握
- * サービス担当者会の参加
- * 介護相談

評価

コロナ禍の中で、各居宅介護支援事業所への積極的な訪問は行っていませんが、各事業所のケアマネージャーへの利用状況の報告や、その時々感染状況によって可能な限り担当者会へ参加する事で、連携しながら問題解決に向け早期対応を図る事ができました。また、地域の方からの相談にも迅速に対応することで、利用に繋げるという事例もありました。

法人内においても、寒川事業場と稼働増に向けたミーティングによりご利用者の状態や空床状況など情報を共有することができました。結果としてまだ十分な稼働率向上には繋がっていませんが、引き続き連携、情報共有を図っていきたいと考えます。

2. 目標稼働率結果

計画 全ての空床を含めた実総数に対して 95%

上記目標に対して、実績は以下の通りとなりました。

81.4% (昨年度: 84.4%)

評価

目標達成に至りませんでした。要因としては、ご利用者の特養への入所等による利用終了や新規ご利用者の確保に時間を要したこと、また特養の空床を効率的かつ計画的に利用できなかったことがあげられます。

3. 施設行事实施結果

4. 職員配置結果

5. 各種委員会・職員会議結果

6. 各種研修会結果

7. その他、運営結果

※上記3.～7.については、「特別養護老人ホームしあわせの家事業報告書」参照

デイサービスセンター しあわせの家 事業報告書

1. 令和3年度の重点取組結果

(1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

グループ会において、意見交換やご利用者に対してのホスピタリティの精神を発揮したサービス提供ができるように啓発活動を続けてきた結果、全体として意識付けはできています。しかし、状況によっては不十分な場面が見られます。顧客満足度調査に大きな影響を与える部分でもある為、全体への啓発活動を更に継続するとともに、全職員の顧客意識が高まるよう取り組みたいと考えます。

(2) 多職種連携（法人内）の充実

デイサービスセンターにおける多職種連携は図れました。コロナ禍であることから朝礼や施設内研修の見合わせなどの施策がとられていますが他部署の運営会議録やグループ会議録等確認することで法人内の連携はとれていると考えます。また、情報共有が効果的に行えるよう、今年度からパソコン上の共有ファイルに申し送りを入力するようにしました。部署内・他の部署の状況も把握でき有効活用できていると思います。

(3) 人材育成の推進

新型コロナの影響で外部研修の受講など見合わせました。施設内でのスキルアップ向上に取り組む研修は文書開催という形で実施しましたが、十分な成果はなかったと思われまます。新規雇用者については新人日報を活用し、悩んでいることや疑問点がないかなど、把握できるように努めました。

(4) 安定した経営の維持

コロナ禍、感染防止対策をしながら運営はできていますが、ご利用者数は減少し、令和3年7月には定員を40名から35名に変更する対応を行いました。コロナ禍で行っていなかった居宅介護支援事業所への訪問も9月より再開し、情報交換や情報収集を行うことで、新規獲得に繋がったケースもありました。居宅介護支援事業所との良好な関係作り、またご利用者の声を聞きながら、満足度を高め稼働率の向上に努めていきたいと考えています。

(5) 法令遵守

令和3年度の法改正に対しても適切に対応することができました。法令解釈に疑義が生じた時は、上司に相談し行政機関に確認するなど対応しました。

(6) 労働環境の整備

ノーリフトケアに向け、人材育成に関する施設内研修会の開催並びに外部研修への派遣を行う予定でしたが、コロナ感染対策等の理由より実施できませんでした。福祉機器もありますが、意識して使用することができておらず活用できていなかったように思います。本来であれば研修等を実施し、意識統一したうえでケアしていくべきではありますが、コロナ禍で集合研修は実施できませんでした。介護従事者の腰痛予防・腰痛改善に今後も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

2. 目標稼働率結果

目標：80% 32名/日

上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りです。

実績：69.8% 28.2名/日 *定員40名として計算

目標は達成できていません。要因としては、ご利用者の入院や施設入所など在宅での生活が困難になった方が多くみられました。また、新規利用者の獲得ができなかったことも減少の原因と考えられます。新規ご利用者を獲得するために、居宅介護支援事業所へのデイサービスセンターの積極的な情報提供や、地域のみなさまの様々なニーズにお応えできるよう職員のスキル・接遇マナーの向上を図り、みなさまに選ばれるデイサービスを作る必要があると考えます。

3. 行事实施結果

新型コロナの感染状況により、外出に関連する行事は見合わすこともありましたが、概ね事業計画の通り実施できました。

4. 職員配置結果

新規雇用、退職者、法人内での異動もありましたが、概ね事業計画の通り実施できました。

5. 各種委員会・職員会議結果

概ね事業計画の通り実施できました。サービス向上に繋がる委員会活動、係の活動は今後も継続しておこないます。

6. 各種研修会結果

新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部講師を招いての研修を含め多くの研修が中止となりましたが、文書による開催へ変更し実施する事ができました。

7. その他、運営結果

- * 4月 新型コロナウイルスワクチン接種実施（4月～7月）
令和3年度介護報酬改定対応開始
- * 6月 顧客満足度調査（上半期）実施
寝具交換実施
- * 7月 定員を40名から35名に変更
- * 10月 職員満足度調査実施
寝具交換実施
職場環境改善アンケート実施
ストレスチェック実施
- * 11月 インフルエンザ予防接種実施
- * 12月 年末大掃除実施
顧客満足度調査（下半期）実施
- * 1月 人事考課制度の実施
新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）実施（1～3月）

居宅介護支援事業所 しあわせの家 事業報告書

1. 令和3年度の重点取組結果

(1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

新型コロナウイルス蔓延期間が長く、自宅へ行く回数が減った分、電話の通信機器を使用した家族連絡が多くなり、対面で話す以上に接遇に気を付けなければいけない状況でした。その中でもご家族との関係性も良好にとる事ができ、今までに担当していた家族より紹介を受けるなど、新規利用者の獲得にもつながりました。

(2) 法令遵守の徹底

今年度は、介護報酬改定があり、解釈に関しても解釈通知書等から情報収集を行い、適切に対応する事ができました。

(3) 人材育成教育

新型コロナウイルスの蔓延も長期化している事から、研修の形が集合研修から ZOOM 等のオンライン研修に代わり、介護支援専門員連絡協議会でも定期的にオンライン研修が行われ、毎回参加し新しい知識の習得に努める事ができました。更新研修も参加し考え方の再確認もできました。

2. 目標利用者数

*平均利用者数 1か月につき平均 105名(要支援者は0.5人と計算)

上記目標を上げていましたが、実績は以下の通りになります。

78.9名

(年間新規契約者数 40名(内訳 要支援者9名、要介護者31名))

新規利用者数は昨年と比較すると5.5人増えてはいますが、目標を下回る結果となりました。要因としては新型コロナウイルス蔓延の為、サービスの利用を希望される方が想定していた以上に少なかった事があげられます。

3. 職員配置結果

*概ね事業計画の通り実施できました。

4. 各種委員会・職員会議結果

*概ね事業計画の通り実施できました。

5. 各種研修会結果

*新型コロナウイルス下でオンライン研修(ZOOM)に積極的に参加しました。更新研修にも参加する事ができました。

*施設内研修は中止し文書で開催できています。

6. その他、運営結果報告

通年 *感染症対策実施

10月 *ストレスチェック実施
*職場環境改善アンケート実施

1月 *人事考課の実施

地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川

事業報告書

1. 令和3年度の重点取組結果

(1) サービスの質の向上（接遇）

昨年に続いてコロナウイルス感染症が猛威をふるった一年であり、外部研修への派遣や外部講師を招いての施設内研修は実施できませんでしたが、顧客意識を浸透させるための独自の研修・教育は実施できました。また、本年度実施した顧客満足度調査においては、コロナウイルス対策として、ご家族にご利用者の生活環境を見ていただくことができないという状況ではありましたが、非常に高い評価を得ることができました。これもスタッフの顧客意識の高まりと、その意識のもとでの実践の結果であると分析しています。この状態を今後も維持しながらより一層の満足を得られるように、顧客意識の浸透及び高齢者の尊厳を守る意識の浸透に努めていきたいと考えます。

(2) サービスの質の向上（ユニットケア）

ノーリフトケアの導入準備については、十分な実践に繋げることができませんでした。コロナ渦であったことから導入に必要と考えていた主要メンバーに対する研修の実施等が難しかったのが要因です。しかし、ユニットケアの実践については、リーダー会においての主要なメンバーの意識共有とそれを踏まえたリーダーを中心としたチームでの実践や施設内研修会等における施設としてのビジョン（基本方針）を巻き返し繰り返しスタッフに対して明確に示すことによって形ができていると評価します。スタッフが自分たちの仕事に誇りが持てる、どこにも負けないユニットケアの実践施設を目指して今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

(3) 安定した運営

令和3年度の介護報酬改定における算定可能な加算は積極的に算定することができました。また、報酬改定に伴う事業所に義務付けられた様々な施策についても滞りなく準備して対応することができました。入退居については、新規入居者で医療的ケアが必要な方の受け入れに対して調整に日数がかかったケースがありましたが、それ以外については入退居をスムーズに実施することができました。更に入院者数についても大幅に減少するなど安定した運営に繋げることができたと評価しています。

2. 目標稼働率結果

95%

$(29 \text{床} \times 365 \text{日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入所間の空床日数}) \div (29 \times 365)$
上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りです。

97%

目標を達成することができました。安定した運営の評価と重複しますが、新規入居に少し時間を要したケースがあったもののそれ以外はスムーズな対応ができたことと、入院者数が大幅に減少したことが要因だと考えています。入院者数の減少については、介護・看護スタッフの連携によって早期対応ができたことも要因の一つかと分析して

いますが、重度化が進む中ではある程度の入院者の発生は想定する必要があると考えています。今後もできる限り健康管理には留意して入院者の発生を防ぐように努めていきたいと考えています。

3. 施設行事実施結果

* 計画していた施設行事については規模を縮小する場合もありましたが、感染症対策を講じながら概ね実施することができました。ただし、施設外部との交流といった企画については今年度も実施を控えることとなりました。尚、施設内（ユニット）での様々な企画は実施できました。コロナウイルス感染症の状況を鑑みながらご利用者の豊かな生活に繋がるような行事を企画して実践していきたいと考えています。

4. 職員配置結果

* 管理栄養士・看護職員の配置が事業計画に 1 名不足している状態となりましたが、それ以外は計画通りに配置ができました。

5. 各種委員会・職員会議結果

* 事業計画の通り実施できました。サービス等の質の向上に繋がる委員会活動も実践できました。

6. 各種研修会結果

* 一部研修内容を予定変更して対応することがありましたが、義務付けられている必須研修の開催を含めて施設内研修については計画通りに実施することができました。しかし、外部研修への参加はコロナ渦の中で控えていましたので十分ではありませんでした。総合的には職員のスキルアップに繋がる効果的な研修を実施することができたと評価します。

7. その他、運営結果

年間通して、適宜コロナウイルス対策に関する施策を実施

- 4月 * 令和3年度事業計画説明会開催（理事長出席）
* 令和3年度介護報酬改定対応開始
* 第1回運営推進会議開催
- 5月 * 新型コロナウイルスワクチン接種（1回目）実施
- 6月 * 西寒川自治会・元気いっぱいと一緒に防災訓練実施
* 上半期顧客満足度調査実施
* 新型コロナウイルスワクチン接種（2回目）実施
* 感染症発生時の対応訓練実施
* 施設長面談（全職員対象）実施
* 第2回運営推進会議開催

- 7月 * 停電試験実施
 - * 消防訓練（日中想定）実施
- 8月 * 異動希望調査実施
 - * BCP 計画の見直し実施（行政指示：コロナウイルス対策の盛り込み）
 - * 第3回運営推進会議開催（書面開催）
- 9月 * 敬老会（高齢者表彰）開催
- 10月 * 寝具交換実施
 - * 職員満足度調査実施
 - * ストレスチェック実施
 - * 職場環境改善アンケート実施
 - * 第4回運営推進会議開催
- 11月 * インフルエンザ予防接種実施（11月～12月）
- 12月 * 感染症対策実施（～2月）
 - * 下半期顧客満足度調査実施
 - * 第5回運営推進会議開催
 - * 感染症発生時の対応訓練2回目実施（BCP 訓練兼ねる）
- 1月 * 人事考課実施
 - * 断続的宿日直勤務（職員による宿直対応）許可
- 2月 * 新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）実施
 - * 第6回運営推進会議開催（書面開催）
 - * 令和4年度事業計画（案）策定
- 3月 * 少年の日記念授業（三島東中学校）参加

ショートステイ しあわせの家寒川 事業報告書

※「ショートステイしあわせの家寒川」は、地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の併設事業となる為、重複する内容については「地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川令和3年度事業報告書」をご参照お願い致します。

1. 令和3年度の重点取組結果

- (1) サービスの質の向上（接遇）
- (2) サービスの質の向上（ユニットケア）

※上記（1）～（2）については「地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川事業報告書」参照

(3) 安定した運営

利用実績を積み重ねることによりサービス内容への評価も少しずつ高まってきていると分析しています。また、法人内事業所間の担当者連携強化や居宅介護支援事業所へ毎週空き情報をお届けする等の取組の結果、利用契約者の総数も増えてきました。長期的利用（ショートを利用しながら特養の入居待ち）というニーズに対しても一定数確保することで全体の稼働も安定してきたと考えています。今後も同様の取組を実施することはもとより、ご利用者に満足していただけることを追求していくことが、何よりも安定した運営に繋がると考えて質の高いサービス提供に努めていきたいと考えます。

2. 目標稼働率結果

計画 全ての空床を含めた実総数に対して 80%

上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りです。

81.3%

目標を達成することができました。利用契約者の増加と長期的利用ニーズへの対応によって全体的な稼働を維持することができたこと、特に本年度は特養の空床発生が少なかったことが目標達成に至った要因の一つでもあります。長期的利用者の入院や特養への入居切替が発生した場合に稼働率に直結するケースがありましたので、ご案内できる対象者をより多く確保できるように、新規利用契約者増に向けて更なる努力を重ねたいと考えています。

3. 施設行事实施結果

4. 職員配置結果

5. 各種委員会・職員会議結果

6. 各種研修会結果

7. その他、運営結果

※上記3.～7.については、「地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川事業報告書」参照

令和3年度 事業所別入所・利用者状況表

短期入所事業所の稼働率... 特養空床を含む総数に対する稼働率

Main data table showing monthly statistics for various facilities including 豊岡事業所, 栗川事業所, 在宅, and 施設. It includes columns for gender, age groups, and utilization rates.

令和4年度目標: 稼働率98%, 費用特養, 要介護程度, 空床を含めた要総数に対して95%, 稼働率95%, 要介護1, 居宅, 目録利用者 90名, 栗川特養, 稼働率95%, 空床を含めた要総数に対して80%

77.0%

以下は拠点事業所別の介護度別利用者状況

Detailed table showing caregiver status (介護度) and service utilization (サービス) for different facilities like 豊岡事業所 and 栗川事業所, categorized by staff and user counts.

95

91.4%